

M.S. ERA

MOBILE SUIT GUNDAM 0001-0080
POPULAR EDITION

M.S. ERA

MOBILE SUIT GUNDAM 0001-0080
POPULAR EDITION



MEDIAWORKS

PROLOGUE

Already 4 years have passed since the conclusion of the Zeon-Federal War (today known as the One Year War). From the immediate postwar era until now, a great number of people have been narrating, defining, and reviewing the war through various media, from the angle of their own points of view, in an attempt to draw a generalization. Today, we are presenting to the public a new pictorial album featuring the One Year War. Why do we venture to take up this subject which has already been so exhaustively discussed? To this question that readers may well be asking, there is nothing we can do but remain silent. We have no alternative but to believe that this pictorial album itself will provide the answer.

Here, we would like to remind you of the editorial staff's intention in bringing forth this book.

When selecting approximately one hundred subjects out of an enormous number of photographs taken during the One Year War, we tried, in principle, to select those which would show the personal experience of each individual who was swept away by the torrent of history, as well as different insights of the countless number of powerless people who were crushed by the gigantic elephant called war. Therefore, the fact that our readers might possibly find this selection of pictures rather extravagant and lacking in coordination is well anticipated. To grasp this versatile theme called war, this was the only way we (men among the powerless masses) could take.

U.C. 0084 EARLY WINTER

Representative of S. R. F. Communications
IZAK KURITA

ジオン派と戦争(今では一年戦争と呼ばれる)終結から既に4年が過ぎた。終結直後から今まで、この戦争に関する一般論を生み出すため、幾つものメディアを通じていろんな人によってこの戦争は語られ、定着づけられ、分析されてきた。我々もまた、ここに一年戦争の新たな写真集を発表する。何故さんざん語り尽くされた題材をテーマとして取り上げるのか? 読者が当然抱くであろうこの疑問に対して、我々はただ沈黙するほかない。

我々としては、この写真集そのものが答えを提示してくれると信じるはかないけれど。

改めてこの本の編集スタッフの制作意図を説明しておこう。何とある一年戦争の写真からはほんの百金点を選ぶときに、戦争を一般化するような作品でなく、歴史の潮流のなかでしか経験できない個人的体験—戦争という日常に離れられた無数の無力な人々の現実を描いた作品を重視した。従って、選択された写真が統一感を持ったものであり、整理整頓されていないという読者の苦情は予想できる。しかし、我々(群衆としての人間)が、戦争という面々がたいていテーマを提示するにはこうするしかなかった。

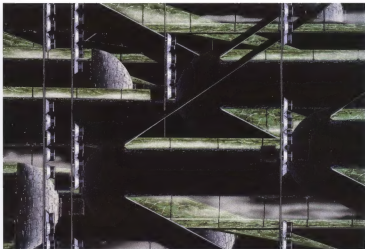
U.C.0084 初冬
S.R.F. 通信社 イザク・栗田



自 1969年7月20日、アメリカ航空宇宙局 (NASA) のアポロ計画は、ついに人類を月へと送り出した。月面に記されたその一歩。直の宇宙世紀はこの時期まったかもしれない。



40 ベネズエラの移民を受け、*「守る国」*と題する。



5) サイダ2 (ハッチ) のロニー部完成記念に撮影された広報写真。



71 劇場中のジョン・デュークが、この見聞に感銘を受け、グロリア・ステインと結婚する。ジョン・デュークは、この見聞の中であった2人に対して、報道員は幸福を注すほどの高熱ぶりを見せた。



※ コントリズムの傑出者であり、ジョン・ケージの父と慕われたジョン・ズム・ダイケンも、2008年12月、ついに歸らぬ人となった。武典神子達の模倣らしく、写っているのは少数の正像者だけだ。



9, 10 宇宙産業用ロボットAMBIACシステムの概念という革新的な世界観の創造は、全長約数メートルに達する巨大な人型機体を生み出した。しかし、その完成におけるまでの道程は険しく、オートバタシーの不満による軋轢などは日常茶飯事であったという。



012 ミノフスキー理論の提唱者ミ.ミ.ミノフスキー博士。彼の理論によってMSを始めとする宇宙世紀の新興機体系が必然として登場してくる。

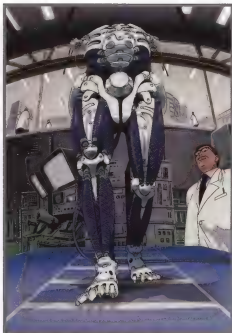


12) サイバーのロケーションチームは、アフガニスタンの対テロ戦争に公開と民間を助したが、公開機は武力を以ってこれを制した。



LEVRA, 2011 A

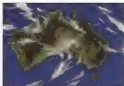
10) 女性と星雲の顔面が重なり、当時の通信機には女性の手が触れた。



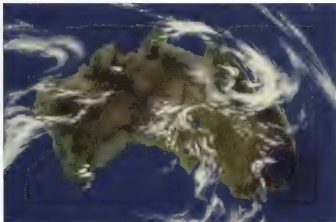
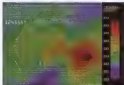
141 軍事技術は、時に皮肉な展開をもたらす。足歩行テクノロジーの恩恵を最も受けた人々はハンズ・オン・キッカーたちだった。



150 終戦後、フロン半開きワイのより見られたマイタロアイルより、左側に並べた平レン・ザビ給載並向の協力者たち。元より、ハンス・ローンガー中尉、アレクシンドル・トロネの新聞記者、バク・キョン・スン医師、サレラー・ストルガフキー政治局長、関係者は全員、軍事法廷により死刑判決を受け、朝は即日、執行された。



January 2, 1978 AD



January 22, 1978 AD

16,17,180 衛星カメラが捉えたオーストラリア。それぞれ、ブラジメーション危機以前、以後に撮影されたもの。



SHANEY, 10, 10/11/12

in the air.



200 ジオン公国軍の最新鋭MS「ザク」の猛攻を受け、大ピンチをむかえる連邦軍艦隊。一年戦争最後のキイロ5日近におけるこの戦況は「ルウム戦役」と呼ばれ、連邦軍とジオン軍のパワーバランスを大きく振り替えることになった。宇宙戦艦における新たな戦術の幕開けとなった。



21) ヤミ屋ゴートレート。この一戦による世界政治の揺りが、今秋大戦の始まりだったといえる。



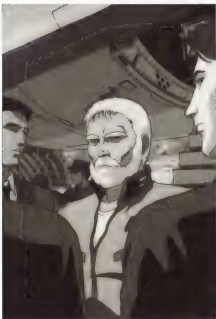
22) 無事終戦時、両軍の兵士の間には、戦争終結の噂が流れていた。



マニラ湾戦役時首尾に対する受難人。この戦いでは、動員部隊の増援により、日本のペースが鈍化した。しかし、それはアメリカ海軍は、多くの苦戦を喫ったジョンソン軍にとって、其力の衰微を示すものでもなかった。



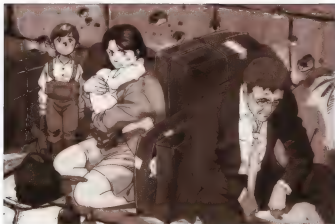
240 空想。



251 シオン星の陥落となりながらも、命懸けの生還を成し遂げたレヒム将軍。彼の戦後劇は、激務員兵士の土佐を大いに刺激した。その後、連邦軍の反政府組織の中心人物として活躍したが、ア・バオア・クー領域にて戦死。

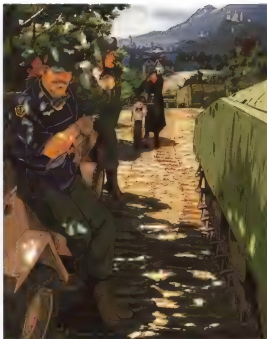


260 ジオンのMSに徹底的な洗脳を試みる連邦軍。ゾムが破壊される直前は、ジオンの持つMSの主力兵器はロケットランチャーではなく、兵器の長手たもは、この兵器を「アサキザ」という自爆的なニックネームで呼んでいた。



251 家庭。

PHOTOGRAPH BY JIM JAC



280 曝光。



291 ジムとの交戦の機会が多くなるにつれ、乗機に禁煙マークを貼き入れる法も増えた。もっともノラスキー協会のせい、禁煙の認定基準は曖昧であり、マークの総数が連隊の個体台数を上回ったとの説もある。



11/10/04, 00:00:00

100 渡河作戦で、連邦軍の激しい抵抗にぶつかり、327人を2月、ドイツのハイデルベルグで流した。ジョンの木の目M5配備以前、連邦軍はしばしば水陸作戦を展開した。2週間にもわたる戦いの結果、連邦軍は5000名、ジョン軍7000名の犠牲者を出しこの橋は陥落した。



11/20/2015, 10:19:45

511-男高第



321 ジオン軍のMS部隊の進攻と避難民。初めて見る人型兵器に脅える市民の様子がうかがえる。



FIGURE 079 42

3月 ニューヨーク占領の日。自由の女神像が再び解放され「自由」を取り戻すのに、この機密作戦、21を遂げた。



540 行軍するジオン軍地を襲撃。ホーランド・ボズヤニ近郊。0079年3月。



MARKS, BETE JO



14) 攻撃，退却。



361 ラジオをフルボリュームで鳴らし、本場のウイスキーを飲み、タバコをふかし、男性雑誌のデラビアに見入るリー・ホワイ・タン・中尉。



MAGNET, 2019.14

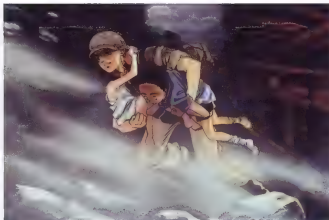
31) パリ戦直前、ブルゴーニュ地方にて。スベースゴロニでは貴重品だった地産のワインを手にするジョアン軍将校。その左に立つ人物は古戦場の村の人間だろうか。



360 ジョンの建築工場でミロームアウトループをやる。



1941 年宮崎正雄編で、通称紅に着色されるジキキキ時。カーン・解読のあと、コンクリートの地すべり活動は継続した。写真は活動家の仲間が撮ったもので、通称の撮影を依頼する記事と共にジキキキの新聞に掲載された。



4C 救助。



411 本星の衛星軌道を巡るジオンのベリラム衛星。宇宙船の建造物であるベリラムの構築・輸送には、相互不可侵の取り決めが条約義務で定められていた。



APRIL 1918 BC

42) ジオン軍兵士、ネストール・マゴンド軍首の葬儀にて



MAP, 02713.42

411 子供たちのヒーロー「キャプテン・ジョン」は、物語の中で、500人の悪徳商と42人のスパイと15人の悪徳協力者を倒した。



441 5213 展 1



www.11.1819.com

411 人山人海。



46 通称第の動士艦隊艦隊を制するシャイン伊藤と兵隊。



47) ラップスライダ。



460 コロニーでは犬や猫が比較的多かったせいで、施設にきたジョン・山の側ではペットを飼い慣らす事が横行した。なかにはMMSに乗せて行軍地に通れて行くものさえあった。



ARMY, 1970-1972

4917C / 9.



921 ホーホに勝つギョウ兵。



ART BY KOTONO

511 水遊びする女の子。



W.A.S.T.E. 0079 08

521 北輪。



50 月面に立てられた無名のジアン隕石との像。



54 撮影者不明。ライン西沢市町の風景と推定される。



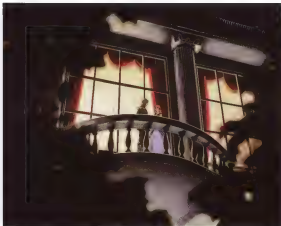
990 夏



96 ミッドウェー空軍基地に降り立つダグラス・バググレイ。



47: キイトロにおける遠征隊、ジオン軍の侵襲の際、撮影されたもの。この頃から遠征隊はMSの戦闘投入を始めていたらしく、本機は試作機であったと伝えられている。



189 戦時下においても、豪華なパティオに閉じるダンカン高官たち。被写体の青年はダゴン・ギンギの四男ガムラ。相手はニューマーケット前市長令嬢であると伝えられている。



500 ザビ家の所居であるギルファの戦死は、総帥であるザビ家の長兄であるキレンによって怒りをもって報じられた。国民の戦意高揚を望ったともいわれたこの演説は、全国の内外に向け、午後2時に控えて聞き流された。



60) カリフォルニアにおけるMSパイロットの候補者たち。MS開発で遅れをとった連邦は、新人パイロットの養成に力を入れ始めた。



SEMPER, COTE DE

411-96.



SHOHEI KAWA, 2019-20

620 橋田3。



611 都道に穿った少年。



641 一年間手本劇のシーズン初では、一瞬のうちに近いニュータイプのアサルトがあったといわれる。少女の同意や仲間が撮影したものだろうか。

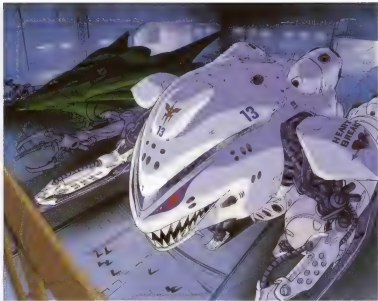


641 観望。



STUDIO GONDO

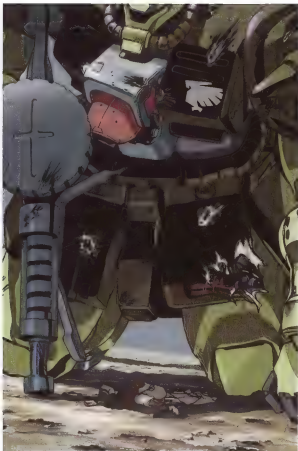
67 連邦の量産型MS「Z」を生産ラインにのせるために生じた人手不足は、女子労働者の投入により改善の方向に向かった。



※MS-06F Zaku IIの原型機。大戦末期には、このような試作兵器も多く製作されたが、その大半は使えるような代物ではなかった。



08 進軍軍のイレギュラー部隊だった「ホワイトベース」のクルーたちの記念撮影。右端にミコトキミが、進軍軍最前線のベースパイロット、アムロ・レイと対峙（当時）。中央の女性上官は補給部隊のヤサカザ・アジエン中尉。中尉はこの直後の戦闘で殉死している。



104 破損し、戦場に取り残されたザク。手前の残骸はパイロットである。



710 ジャブローの熱帯雨林やメナが居た映像。ジオン軍のジャブロー攻撃には、こうした未開拓地のMSが多数投入された。



72) 戦場に残された少女のポラロイド。恋人が戦死し、そして持ち上げどろくなったのか、その一瞬が写っている。





750 250 250 250



364 下校途中で、



72 兵ボジオン軍の手より解放された日、市民の助けを今ける道邦兵。



760 マジリッド空襲。



79) 高機動性のMSになったMSとゾクン。



MOBILE SUIT GUNDAM

607号機にて



VOUGIERE, DUTTELL

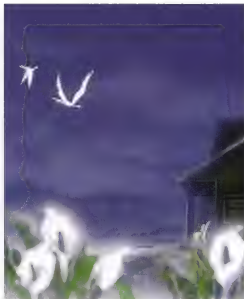
81) GM HEAD



62] サン・フェルナント州の友人聖学研究家は、鳥類調査の際、ジョアロー森で作戦に遭遇。インディオたちは「空から降りる人」を「悪魔の使い」と呼び、弓矢を射かけて殺そうとしたという。



84 オブジェ作風以降、芸術家の間で戦慄気分が広がっていた頃。



840-0079年12月、サイドP6の同時で撮影されたもの。



DECEMBER 4, 2013 LC

850 ジオン軍北米基地を破壊。0079年12月4日、カリフォルニア。



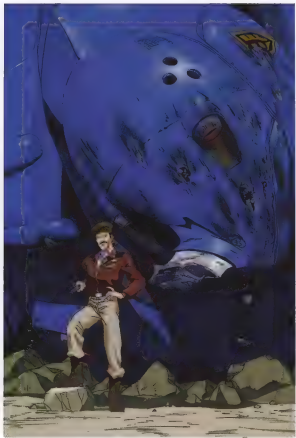
000 プリザード。



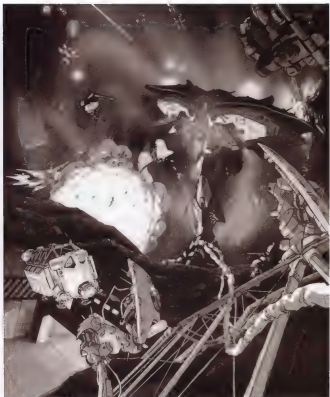
87) 戦艦から発進するMS部隊。



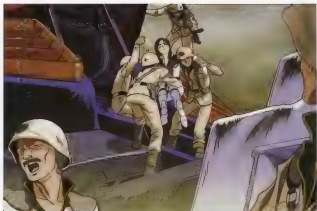
80 天高く白煙の尾を引ながら上昇する流星群の軌跡。



001 大空寺雄介 Big Trooper, 0079年12月20日, 44 Pts.



90 大規模なジオン軍の戦艦兵器のために発表されたもの。本回展覧にはリゼンが明らかになった。恐らく完成品であろう。



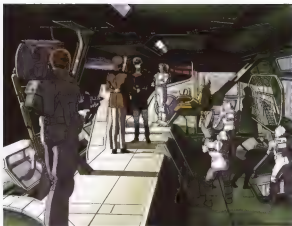
912 大戦末期、戦況は中心を空けていたサイド6にも及んだ。バタと交戦の結果、入城した連隊の試作機から救出される女性パイロット。Egoの女性士官と同一人物かと推定される。



921 宇宙要塞デ・パオデ・ターをめぐる決戦は、ジオン軍の戦力を大きく削ぐことになった。
およそ一年に渡るジオン独立戦争は、デ・パオデ・ターの陥落と共にその幕を閉じた。



911 第三号作展における透視図の切り札となったアーケシステム。アルキメデスの造像にならった自在な図のミラーによるH・Aを表現した。



94 投降し武装解除されるジオン軍宇宙戦艦。0079年12月25日。





ART BY GREGORY, 2019.02

951 各所にM45の連発を促えつつ監視していくジン星の宇宙艦隊。



911 自決したジレンマは君だ。





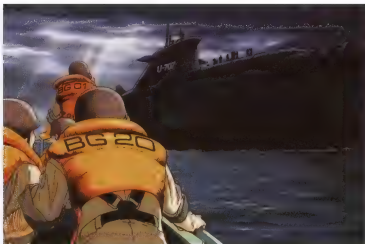
94 ジョン隠居の知らずが我が家に逃げた異国から、この夜の酒は2日で底をついた。



1001 プラチナメソンの流星群。



1013 投降したジオ軍女性兵士たち。彼らの女性兵士はネロン総帥の秘書官長として活躍したセシリア・アイリーン。



0310 アデレード沖で連邦軍艦艇に迎撃するジョン海軍のユーコン級潜水艦。



1948.11.15, 2000.12

32分 終戦後、ジョン・F・Kennedyのあちこちに建てられたザビの像は、連年軍や市民の手で全て破壊された。



104) オーストラリア・メルボルン憲法にて、国は一年前の日ロ戦争として決めたものだ。

WORLD OF M.S. ERA

M.S.ERA0099とは



▲書籍の表紙から写真のイメージがわかる。表紙の右下に「MS ERA 0099」とあり、その下に「ガンダム」のロゴがある。また、表紙の中央には「MS ERA 0099」という文字がある。

「ガンダム」シリーズ初のオリジナルビデオアニメ「機動戦士ガンダム0080 ポケットの中の戦争」各話エンディングには、その作品コンセプトを示すように、ガンダム世界の本筋では語られることのない志井の人々が「疑似写真」という形で描かれていた。スタッフであった出淵裕氏、高山文彦監督、内田健二プロデューサーらがこの手法を実際の写真集に置き換えて作り上げたのが1990年3月にバンダイから発行された『M.S.ERA』である。その後99年には、PCの飛躍的な進化によって90年当時なし得なかった特殊効果が可能となり、ガンダム20周年も手伝ってリニューアル版『M.S.ERA0099』が発行された。その装丁はベトナム戦争を題材とした実在の写真集をイメージソースとした本格的なものであった。本書はその高い志（遊び心）をさらに多くの人々に知ってもらうべく普及版として発行したものである。

M.S.ERAの架空世界

『M.S.ERA』は一年戦争終結から4年後、UC0094年にS.E.E.A.通信社から発行された、その日本版版……という設定の元に編纂された。本書P02に掲載している文庫は、S.E.E.A.通信社・編集主幹であるイザナ・栗田の序文という設定だ。本書には掲載しなかったが『M.S.ERA0099』にはUC0099年版編集主幹であるピーター・ハルウェーの序文を掲載。そこにはUC0084年版が「アララズ紛争直後の不安定な時代の空気に後押しされて編纂された」とあり、またUC0099年版にしても「その後15年間に起きた様々

な戦争・紛争で幾人かのカメラマンが逝き、その補填の意図も込められた再発行された」と書かれている。それぞれの写真には撮影者も設定されており、下記の様なプロフィールまで掲載されている。ここに記載されていないナンバーの写真は、戦後公表された機密ファイル。もしくは兵士、市民の作品である……という注釈もつける徹底ぶりであった。いずれにしてもひとつのアルムレーションソースでここまで高水準、他誌に比べれば「道楽」をやってのけたスタッフのセンスと熱意には驚くばかりだ。



▲本誌の表紙。『ガンダム』の年表の補綴として追加された15年分と1990年当時の機動戦士ガンダム。

M.S.ERAフォトグラファ―人物設定

Adolf Lischenbach

ザウルス・ライオン・カメラマン (UC0084年～UC0088年)
サイド1に生まれる。U.T.社の初期カメラマンとして、戦後で取材を始める。戦争直後、ジブの戦いにも参加する。サイドで死亡。
Photo 14

Chen E.Mao

チェン・イー・マオ (UC0085年～)
台湾生まれ。戦後はファッションフォトグラファ―として活動していたが、40代半ばより、ドキュメント写真に意図を転換。国家の真実性にも多くの人々の目を惹いた。『M.S.ERA』でその名を知られる。
Photo 16, 17, 18

Deke Thornton

ディー・ターントン (UC0085年～UC0090年)
カリフォルニア州・サン・ラファエルに生まれる。関心人間の顔を撮影することを止めて戦士と写真師「星の王」にその名を知られる。「一年戦争を主題とした作品群」「革命の光」などの写真集を発表した。
Photo 19, 20, 21, 22

Nguyen Imu Coo

ダエン・イム・クー (UC0094年～UC0098年)
ベトナムに生まれる。軍事記者の村田カサマツとして「一年戦争」を取材。戦後であるが、連年国内の紛争による戦禍に巻き込まれて死亡。
Photo 23, 24, 25, 26

Guinea Tutuola

ダニエル・ツツウラ (UC0086年～UC0091年)
サイド1に生まれる。ジョーンズの戦後写真家として多額の写真を発表。「ラダナール」と呼ばれる戦後写真家として活躍した。戦後連年の内戦をテーマにした作品を発表したが、ベトナム紛争の被害者で、小規模な戦争で被害者となるに違いないと平然と語る。
Photo 27, 28, 29, 30

Harvey Viladek

ハーヴェイ・ヴィラデック (UC0089年～UC0094年)
ニューヨーク生まれ。マダガスカル島の反政府武装家として活躍。「1971-0089」、「われらの時代に」が代表作品として知られている。94年、戦争のため死亡。
Photo 31, 32, 33, 34, 35

Kihachiro Amamoto

キハチロー・アマモト (UC0094年～)
日本・鳥取に生まれる。「一年戦争」を取材した写真家「星の王」によって名を知る。
Photo 35, 36, 37, 38, 39

Kumiko Fentess

クミコ・フェンテス (UC0093年～)
テキサス生まれ。イタリヤの戦後写真家として「星の王」にその名を知る。
Photo 40, 41, 42, 43, 44

Massimo Giannini

マッシモ・ジャンニニ (UC0088年～UC0091年)
フィレンツェに生まれる。写真家の学生だったが、連年軍に上陸し、アフリカの戦後写真家として活躍する。戦後連年の内戦をテーマにした作品を発表した。
Photo 45, 46, 47, 48, 49

Mia Freedman

ミア・フリードマン (UC0086年～)
ブルックリン生まれ。サイド1の戦後カメラマンとして活躍を始める。
Photo 50, 51, 52, 53, 54

Ou Sun Fir

オー・サン・フィア (UC0090年～UC0093年)
サイド1に生まれる。U.T.社の戦後カメラマンとして戦後連年の内戦をテーマにした作品を発表した。
Photo 55, 56, 57, 58, 59

Risa Bonanno

リザ・ボナンノ (UC0094年～)
サイド5に生まれる。写真家の妻写真家として戦後の戦後写真家としての活躍を始める。代表作『1971-0094』が代表作品。『M.S.ERA』でその名を知る。
Photo 60, 61, 62, 63

※M.S.ERA0099には以上の設定、戦後連年の戦後写真家としての活躍を始める。代表作『1971-0094』が代表作品。『M.S.ERA』でその名を知る。M.S.ERA0099には以上の設定、戦後連年の戦後写真家としての活躍を始める。代表作『1971-0094』が代表作品。『M.S.ERA』でその名を知る。

出淵 裕 Yutaka Izubuchi

1958年生。東京都出身。「逆襲のシャア」「機動士ダンバイン」「機甲界ガリアン」「機動警察パトレイバー」「ガサラキ」などのメカデザイン、小説「ロードス島戦記」のイラスト、実写ヒーロー作品のスーツデザインなどで圧倒的な支持を得る。近年では、その多彩な才能を生かし「ラーゼフォン」の原作・監督や、「鉄腕バーディー」のクリエイティブプロデューサーを務めている。08年6月には画業30周年記念画集「IIX」が発売される。

高山文彦 Fumihiko Takayama

1953年生。熊本県出身。トップクラフトからアートランドを経てフリーに。TVシリーズ「超時空要塞マクロス」「ファイト・オブ・ドラゴン」(合作)などの企画、ビデオシリーズ「機動戦士ガンダム0080ポケットの中の戦争」「超時空世紀オース02」で監督、「W.S.M. 機動警察パトレイバー」では総監督を務める。「ガンバレード・マーナ/新たなる行軍歌」「よみがえる空」「ストレンジア/無息刃」などにも脚本・構成として参加している。

窪岡俊之 Toshiyuki Kubooka

1963年生。北海道出身。初仕事は「THE IDEON」(企画)、その後「プロジェクトA子」(原画)、「オネアミス重工宇宙軍」(原画)、「トップをねらえ!」(作画監督)。「機動戦士ガンダム0080ポケットの中の戦争」(作画監督)、「ルナ・シリーズ」(キャラクターデザイン)を手掛ける。近年は「THE IDOLM@STER」に代表されるゲームキャラクターのデザインでも活躍。

川元利浩 Toshihiro Kawamoto

1963年。三重県出身。「アリオン」(企画)。「ガンダムZZ」(原画)。「逆襲のシャア」(原画)。「機動戦士ガンダム0080ポケットの中の戦争」(作画監督)を経て、「機動戦士ガンダム0083 STARDUST MEMORY」(キャラクターデザイン・作画監督)、「ゴールデンボーイ」「カウボーイビバップ」でキャラクターデザインを担当する。現在は(株)ボンズの取締役として「天保異聞 妖奇士」などの同社作品に携わっている。

岩崎 智 Satoshi Iwataki

1963年生。新潟県出身。タフノコ系作品の企画が初仕事。原画としては、「Zガンダム」でデビュー。以後、「ガンダムZZ」(原画)、「機動戦記」(原画)、「冥王計画ゼオライマー」「機動戦士ガンダム0080ポケットの中の戦争」ではメカニック作画監督として参加。最新作「ゴーストハント」ではキャラクターデザイン・総作画監督を務めた。(現:岩崎 智)

池田繁美 Shigemitsu Ikeda

1954年生。東京都出身。アトリエムサ主宰。「機動メカザンダール」「重戦士ダンバイン」「重戦機エルガイム」「ガンダムZZ」「逆襲のシャア」など、一連の富野監督作品の美術を務めている。「機動戦士ガンダム0080ポケットの中の戦争」や「ガンダム」「機動戦士ガンダムSEED」「機動戦士ガンダムSEED DESTINY」でも美術監督を担当。現在も「結界師」・「逆襲しゅうぞく フルスロットル」など多くの作品を担当している。

田島照久 Teruhisa Tajima

1949年生。福岡県出身。アートディレクター、グラフィックデザイナー、写真家(ジーズアイズ主宰)。多摩美術大学卒。ユニバーミュージックの勤務を経て、フリーランスに。以来主にミュージシャンの撮影とパッケージカバーなどのアートディレクターを務めている。主な著作としては、尾崎豊写真集「FREEZE MOON」(角川書店)、CO合成写真集「DINOPIX」(角川書店、海外版クロニクル出版ほか)、浜田省吾写真集「ROAD OUT」(文芸春秋)、小説「ネクターマーケット」(興)、ガンダム写真集「GUNDAM PHOTOGRAPHY」(講談社)などがある。

CREATIVE STAFF (1990)

ディレクター	出岡 菊 高山文彦
作画	岩崎 智 川元利治 窪岡俊之
美術	池田繁美
音楽	アトリエ ムサ 大久保裕一 堀内博光 丸山由紀子 村原美子 若松崇司
セルワーク	牛嶋純子 (スタジオ・トムキヤット) 小松住江 (スタジオ・トムキヤット) 城二雄子 鈴木敦子 スタジオ半平一 田丸雅彦 西谷茂子 (スタジオ・トムキヤット)
特殊効果	下堀 豊
リスマスタ	マキプロダクション
撮影	奥井 誠 (旭プロダクション) 田島照久 (タジマデザイン) 広野 薫
構成協力	河森正治 近藤和久 高松信司 永岡 唯 ゆうきまきみ 森川 猛
制作アシタ	高森玄治
制作進行	中山浩太郎
プロデューサー	内田健二

THE FIRST EDITION EDITORIAL STAFF (1990)

プロデューサー	加藤 智
アートディレクター	田島照久
デザイン	TAJIMA DESIGN CO., LTD.
編集	田中 菊、寺根利人 (STUDIO HARD)
翻訳	ウィリアム・ロス、荒坂雅彦子
協力	小笠原 誠、辻 世一、大内善博、菅原拓三、安部 猛

A REVISED EDITION EDITORIAL STAFF (1999)

カバーコンセプト	出岡 菊
カバーイラスト	川元利治
カバー仕上げ	中山浩太郎
特殊効果	下堀 豊 (マリックス)
美術	池田繁美 (アトリエムサ)
プロデューサー	安部利明 (メディアワークス)
アートディレクター	田島照久
画面上のデザイン	田島照久、古賀達史
装丁・ブックデザイン	THESEDAYS
編集	藤本新子 (メディアワークス)
制作進行	森中裕子 (メディアワークス)
翻訳協力	エドワード中野 (フィールドワイ)
協力	富田民幸、佐々木 新 (サンライズ)
エクゼクティブ・プロデューサー	加藤 智 (メディアワークス)

HARDWARE AND SOFTWARE

Macintosh6600/250, GenesisMP160x6, Macintosh8000/80
 Unix/ming68SE, Linux/485, Nikon LS3530-AF
 Photoshop5.0.4.0, Quark3.3, Illustrator5.3p.7.0, Lightwave5.5

POPULAR EDITION EDITORIAL STAFF (2008)

アートディレクター	田島照久 (THESEDAYS)
装丁・ブックデザイン	伊藤秀一 (THESEDAYS)
編集	安部利明 (メディアワークス)
PAディレクター	藤本新子 (メディアワークス) 佐々木 健 (メディアワークス)
協力	渡邊康典子、中島幸治 (サンライズ) 加藤 智 (トイズワークス)

D-セクション

M.S.E.RA POPULAR EDITION

機動戦士ガンダム戦艦写真集

発行日:2008年4月13日 初版発行

発行者:久保敏行

発行所:株式会社メディアワークス

〒104-8105 東京都千代田区神田錦州台1-4 東京メディアビル

TEL:03-5561-5218 (編集)

販売元:株式会社角川グループパブリッシング

〒100-0027 東京都千代田区千代田1-1-3

TEL:03-3235-0601 (営業)

印刷所:色版印刷株式会社

正字体の印刷または一部を抜粋で転写(コピー)することは、著作権法上での権利を侵害。禁じられていますが、本書から転写(コピー)を希望される場合は、日本国写真センター(03-3423-1311)に連絡ください。

PRINTED IN JAPAN

0596976-4-9482-4239-4 C0076

©機動・サンライズ

©2008 MediaWorks

※本書は1999年11月に株式会社メディアワークスより発行された「M.S.E.RA009 機動戦士ガンダム戦艦写真集」を再編集したものです。

※本書出版の半年後の2000年1月に発行された「M.S.E.RA ガンダム戦艦写真集」に採録されたものを抜粋しているため、現在の宇宙世紀成立年表とは一部異なる部分があります。

M.S.ERA

THE DOCUMENTARY PHOTOGRAPHS OF THE ONE YEAR WAR

ISBN 978-4-8402-4239-4
C0076 ¥1500E



9784840242394

 MedioWorks

発行・メディアワークス

定価: 本体1500円

© 1999 MEDIO WORKS CO., LTD.



1920076015007

THE DOCUMENTARY PHOTOGRAPHS OF THE ONE YEAR WAR

PHOTOGRAPHED BY:

ADOLF LISCHENNACK, CHEN E. MAO, DEKE THORNTON,
NGUEN IMU COO, GUIZZA TUTTIDHILA,
HARVEY Mladek, RICHARD AWAMOTO,
KUMIKO FENTESS, MASSIMO GIANINI,
WIA FREEDMAN, OU SUN PIR,
RISA BOMANNO, AND OTHERS